

■当時の避難所における避難者数

日	時	避難箇所数	避難者数
7月22日	23時現在	24箇所	1,380人
7月23日	21時現在	12箇所	354人
7月29日	20時現在	6箇所	139人
8月10日	20時現在	3箇所	54人
8月31日	20時現在	1箇所	5人
9月1日	20時現在	1箇所	4人
9月4日	20時現在	1箇所	4人
9月5日	8時現在	0箇所	0人

■当時の被害状況

人的被害	死者		住宅・住宅兼用店舗	棟数		世帯数		
	1人	0人		全壊流失	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
行方不明者	0人		全壊流失	219棟	214世帯	半壊	361棟	346世帯
重傷者	0人		一部損壊	6棟	6世帯	床上浸水	114棟	86世帯
軽傷者	3人		床下浸水	115棟	102世帯			

その他に店舗・非住宅、道路・橋梁、田畑・水路、各種施設、農林産物などの被害あり。

■当時の鶴田ダムの放流量

最大流入量 4,042m³ 7月22日 15時30分
 最大放流量 3,571m³ 7月22日 18時30分

■当時の水位状況

水位の指定： 指定水位 3.10m 警戒水位 4.60m
 危険水位 6.60m 計画高水位 8.74m

- 指定水位 7月20日 23時50分
- 警戒水位 7月21日 20時40分
- 危険水位 7月22日 10時20分
- 計画高水位 7月22日 11時30分
- 最高水位 7月22日 18時50分 11.66m

■当時のボランティア数

- 延べ人数 2,611人
- 個人 902人
- 団体 121団体 1,709人

■義援金受付（平成19年4月9日現在）

総額 59,019,779円



虎居馬場



虎居アーケード
国道328号



現在



災害当時

神子橋下流



現在



災害当時

国道267号線沿いの夜星川 奥は大願寺



現在



災害当時

下湯田

- 10月26日 川内川河川激甚災害対策特別緊急事業住民説明会（湯田・柏原・神子地区）
- 10月30日 川内川河川激甚災害対策特別緊急事業住民説明会（虎居地区・川原地区）



- 10月25日 川内川河川激甚災害対策特別緊急事業住民説明会（山崎・二渡地区）
- 9月13日 豪雨災害被災地域住民説明会（山崎・二渡地区）
- 9月12日 豪雨災害被災地域住民説明会（湯田地区）
- 9月8日 国が激甚災害を指定 閣府等へ要望
- 9月5日 避難所閉鎖 国土交通省、財務省、内閣府等へ要望



- 7月29日 宮腰光寛農林水産副大臣（当時）、野村哲郎参議院議員、加治屋義人参議院議員らが現地調査
- 8月3日 川内川改修促進期成会及び川内川下流及び川内川上流期成会による国土交通省への合同要望
- 8月2日 災害ボランティアセンター解散
- 8月17日 参議院災害対策特別委員会が現地調査及び住民懇談会
- 8月27日 鹿児島県北部ダム放流量害虎居地区被災者協議会設立
- 8月31日 災害対策本部閉鎖
- 9月2日 豪雨災害被災地域住民説明会（虎居・宮之城屋地区、柏原・神子地区）